

### \* 東京天文台が三鷹に来た頃の大沢の農家の写真発見

アーカイブ室新聞20号で東京天文台が三鷹村に移転した頃の三鷹村大沢の天文台南の水田風景(写真1)を紹介した。写真の中央を走る道路は天文台通りである。今回、辻光之助氏のご子息から提供された写真のなかに、その頃の農家の様子が写った写真が数枚あった。



写真1 天文台南の水田風景

明治42年に三鷹村大沢の民有地73,000余坪を購入したが、その頃、坪単価25銭で買い上げたと聞く。総額で18,250円である。当時でさえ、ただ同然に取り上げられたとお百姓は怒っていたという話を聞いた。当時の農家の写真を見ると、日本中どこでもそうだったのかもしれないが貧しい農家の様子が見られる。三鷹への移転工事は大正3年から始まったとあるから、これらの写真はそれ以後の写真であろう。東京天文台90年史によれば、民有地購入(明治42年3月31日)73,284坪、寄付受入れ(明治42年10月1日)7,589坪、内務省より管理換え(大正5年2月4日)543坪、内務省より管理換え(大正6年6月27日)652坪、内務省より管理換え(大正10年3月19日)3,300坪、内務省へ管理換え(大正10年3月19日)-716坪、実測による増(大正10年3月19日)8,238坪、以上小計92,890坪、307,074平米、東京都へ管

理換え（昭和39年3月31日）-5,647平米、東京都より管理換え（昭和42年9月20日）31,453平米となっており、東京天文台の敷地は332,880平米である。1坪は3.3058平米であるから、100,695坪ということになり、一声、10万坪といわれていたのである。

その頃の農家の様子を示す写真2、写真3、写真4を見ていただこう。



写真2



写真3

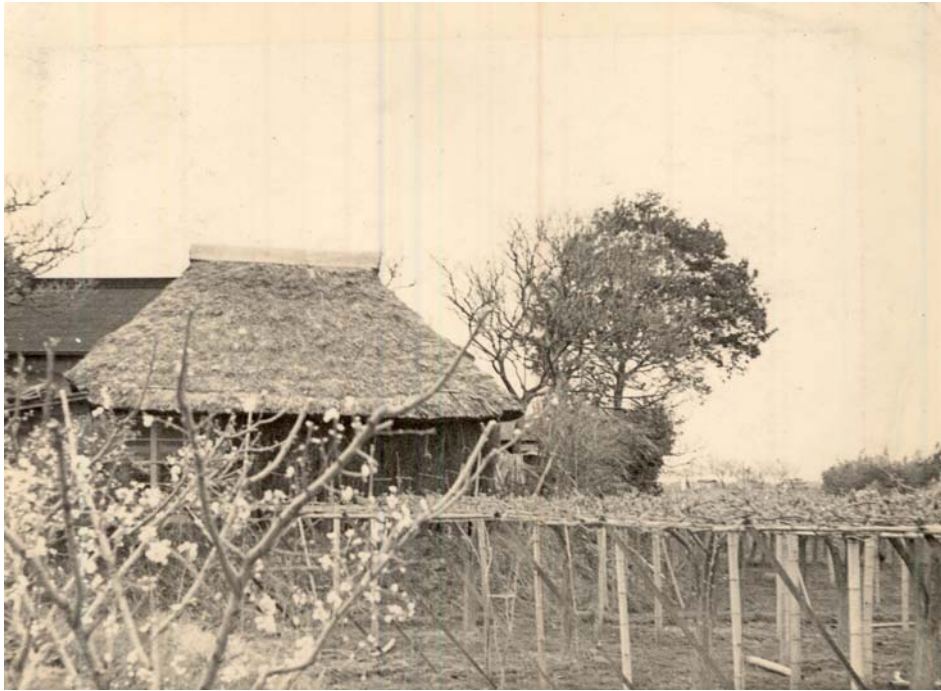


写真4

これらの写真に写っているあたりの現在の様子を示す航空写真が写真5である。



写真5